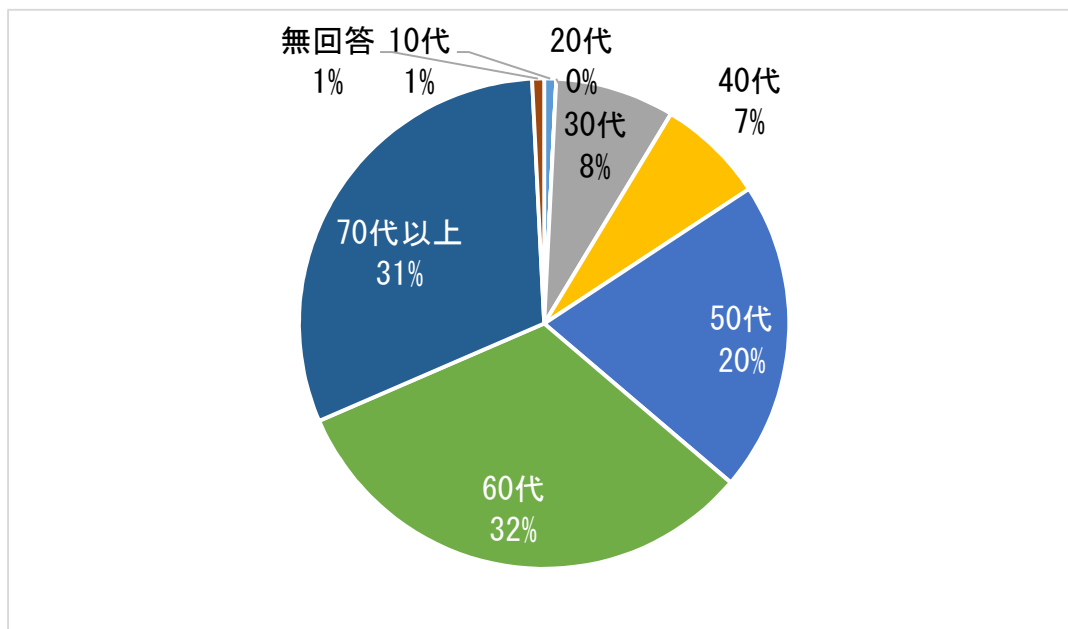


# 參考資料

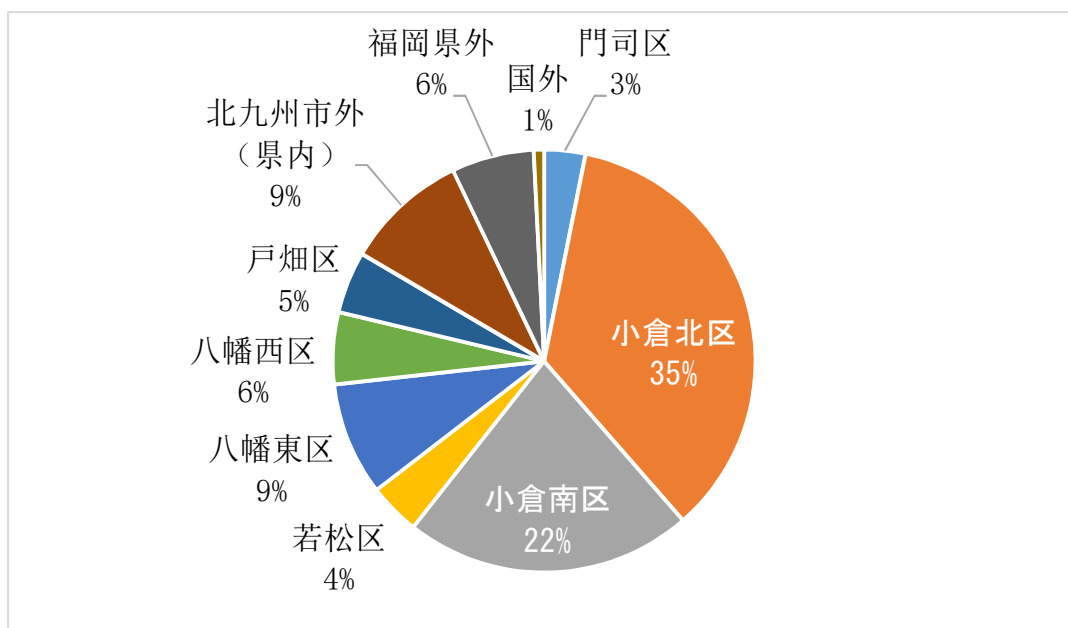
◆参考資料① 北九州市立埋蔵文化財センターに関するアンケート（結果）

問1 あなたの年齢はどちらにあたりますか。 N=127



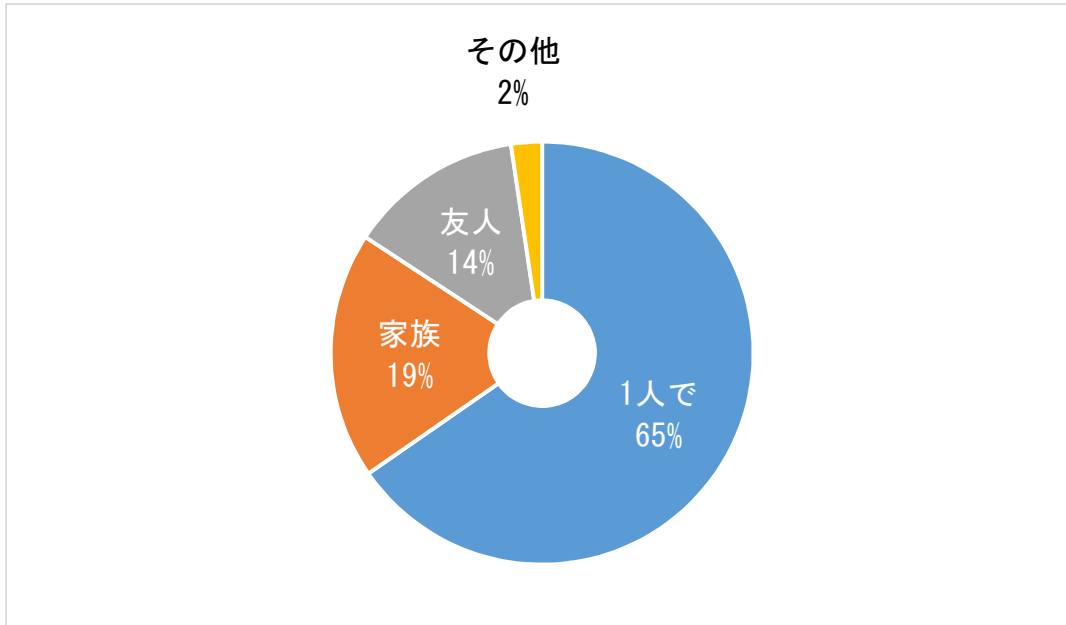
1. 10代 1人 2. 20代 0人 3. 30代 10人 4. 40代 9人  
5. 50代 26人 6. 60代 41人 7. 70代以上 39人 無回答 1人

問2 あなたのお住まいをお答えください。 N=127



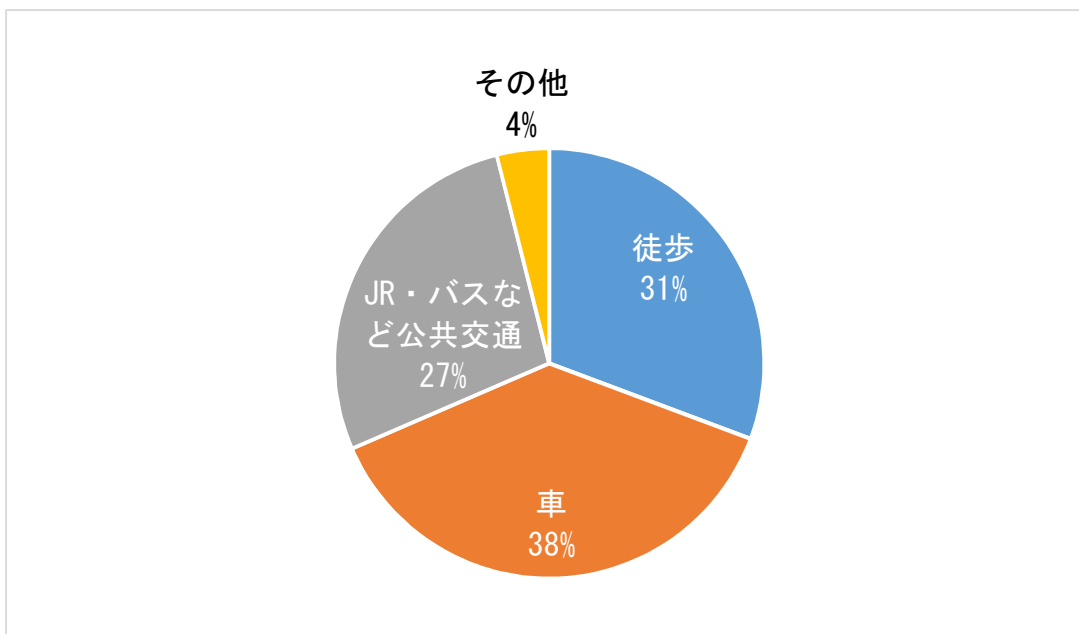
1. 門司区 4人 2. 小倉北区 45人 3. 小倉南区 28人 4. 若松区 5人  
5. 八幡東区 11人 6. 八幡西区 7人 7. 戸畑区 6人  
8. 北九州市外(県内) 12人 9. 福岡県外8人 10. 国外 1人

問3 本日はどなたとお越しになりましたか。N=127



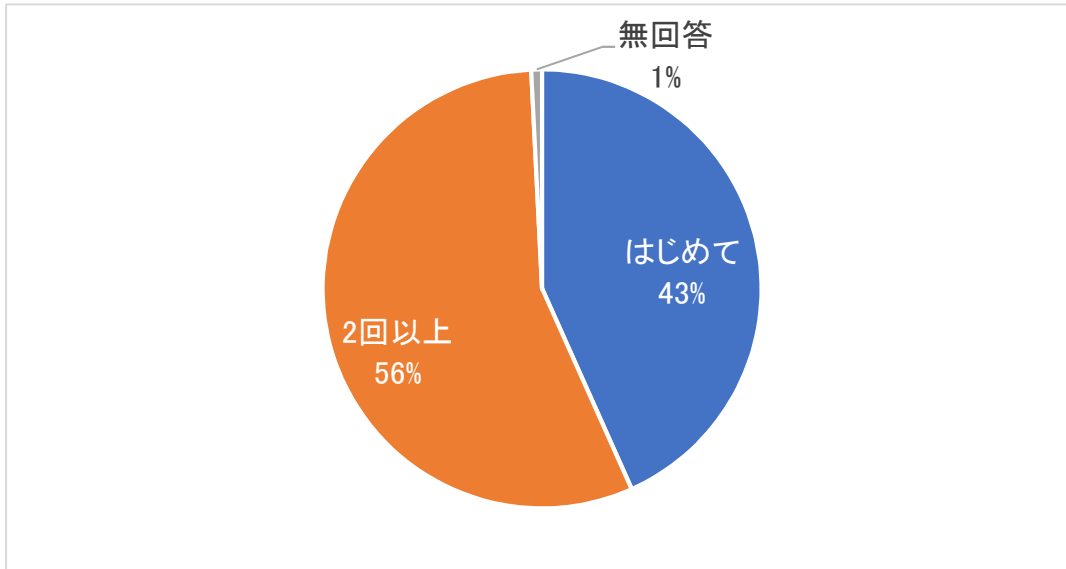
1. 1人で 83人 2. 家族 24人 3. 友人 17人 4. その他 3人

問4 本日はどのような交通手段でお越しになりましたか。N=127



1. 徒歩 39人 2. 車 48人 3. JR・バスなど公共交通 35人  
4. その他 3人 (ミニバイク1人、自転車2人)

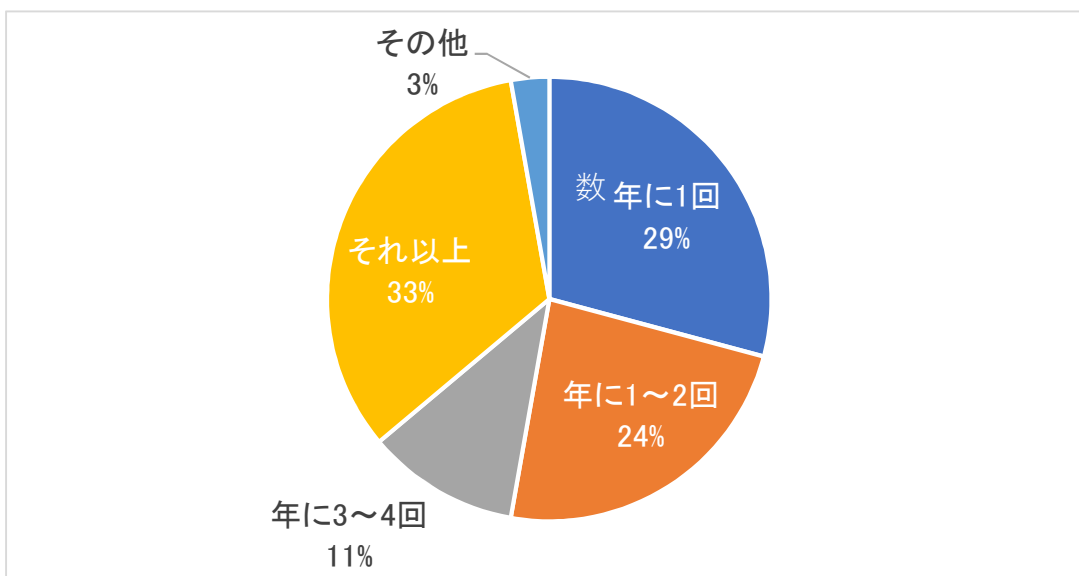
問5 埋蔵文化財センターに来館されたのは何回目ですか。N=127



1. はじめて 55人      2. 2回以上 72人      無回答 1人

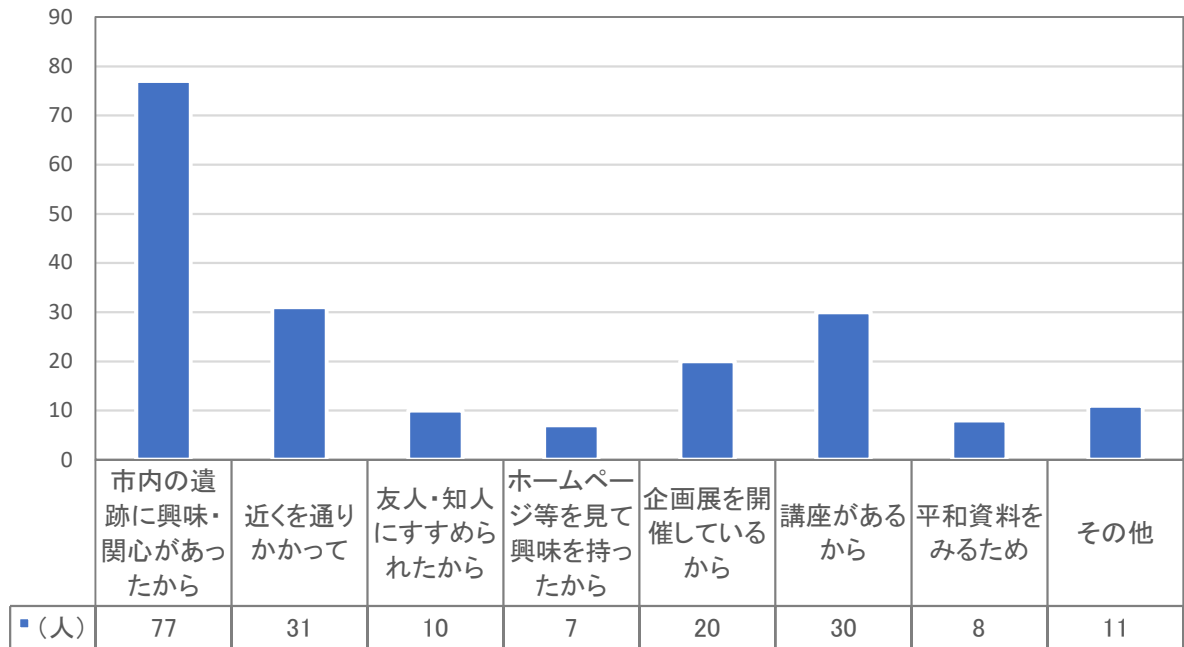
【問5で2と答えた方にお尋ねします。】

問5-2 どの程度の頻度で来館されていますか。N=72



1. 数年に1回 21人      2. 年に1~2回 17人      3. 年に3~4回 8人  
4. それ以上 24人      5. その他 2人

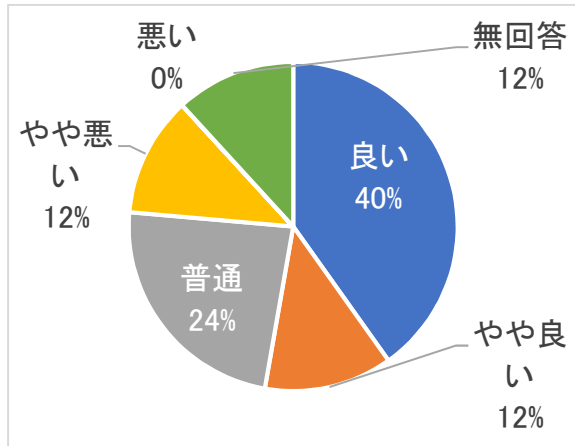
## 問6 埋蔵文化財センターに来館したきっかけ・理由をお答えください。(複数回答)



1. 市内の遺跡に興味・関心があったから 77人
2. 近くを通りかかって 31人
3. 友人、知人にすすめられたから 10人
4. ホームページ等を見て興味を持ったから 7人
5. 企画展を開催しているから 20人
6. 講座があるから 30人
7. 平和資料をみるため 8人
8. その他 11人

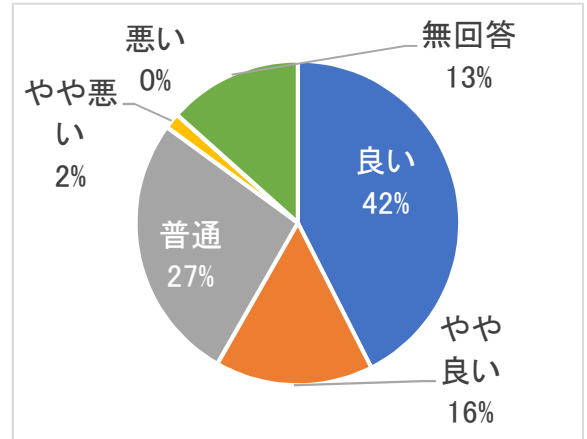
問7 現在の展示について、該当するものに○をつけてください。

1. 照明の明るさ (N=127)



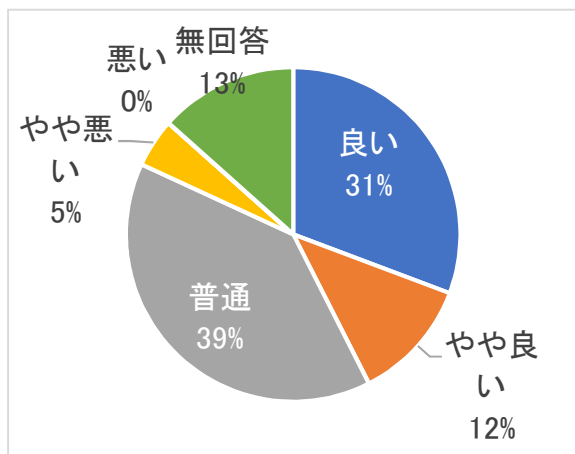
良い 51人 やや良い 16人 普通 30人  
 やや悪い 15人 悪い 0人 無回答 15人

2. 展示の内容 (N=127)



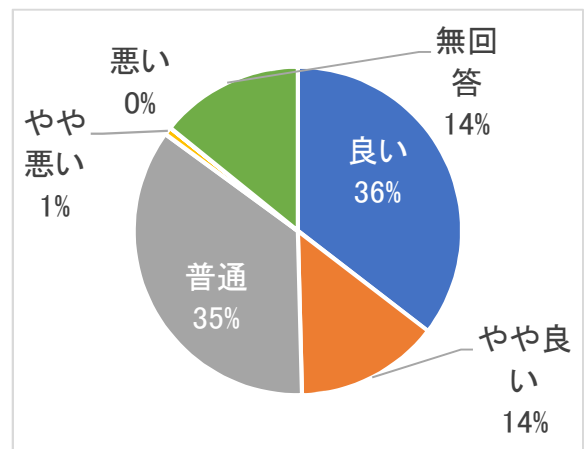
良い 54人 やや良い 20人 普通 34人  
 やや悪い 2人 悪い 0人 無回答 17人

3. 展示の導線 (N=127)



良い 39人 やや良い 15人 普通 50人  
 やや悪い 6人 悪い 0人 無回答 17人

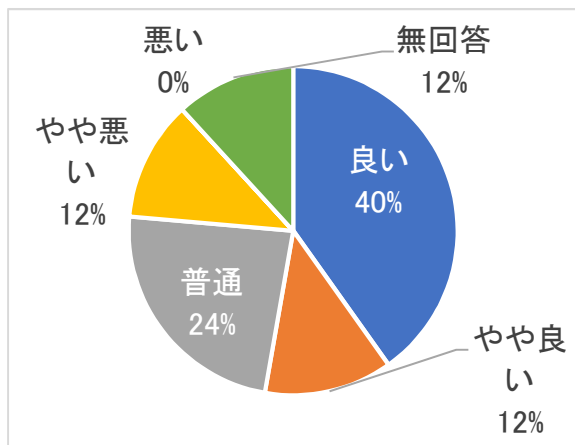
4. 展示パネル (N=127)



良い 45人 やや良い 18人 普通 45人  
 やや悪い 1人 悪い 0人 無回答 18人

問7 現在の展示について、該当するものに○をつけてください。（続き）

5. リーフレット（N=127）



良い 38人 やや良い 18人 普通 40人  
やや悪い 4人 悪い 0人 無回答 27人

6. その他 展示に関して気づいた所・改善して欲しい点

<展示物についての主な意見>

- ・展示品の充実、イラストや説明内容の充実
- ・城野遺跡群の展示の充実
- ・当時の地形や環境が伝わる展示

<テーマや解説についての意見>

- ・動画や写真等ストーリーを見せる
- ・的を絞る。テーマを設定
- ・手で触れる展示
- ・展示解説文の文字を大きくしてほしい

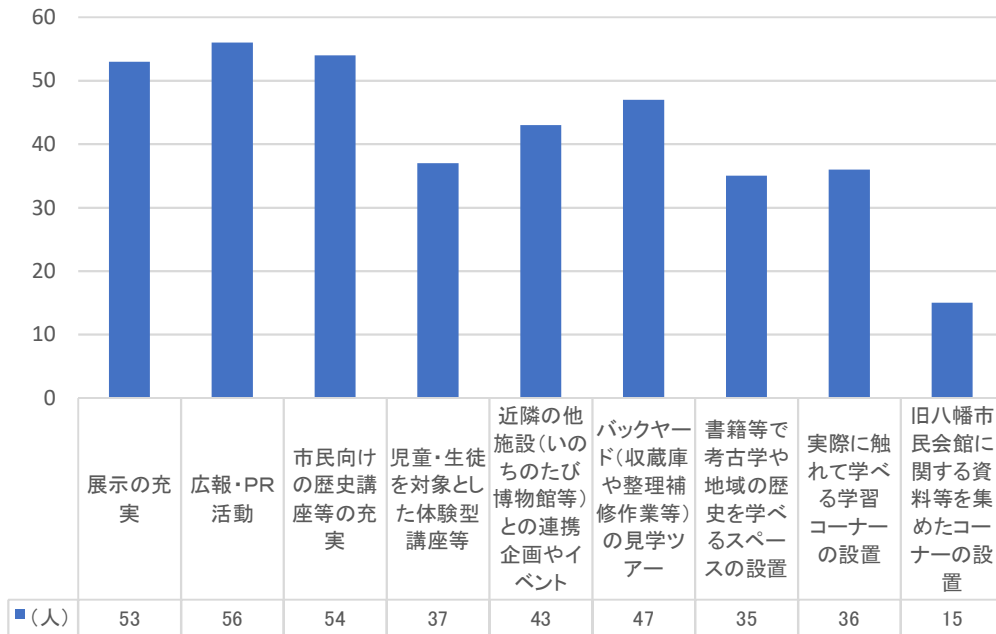
<施設についての意見>

- ・順路標識の設置
- ・石棺展示にスロープをつけてほしい

<その他の意見>

- ・埋蔵文化財センターの展示がわかるパンフレットを設置してほしい
- ・すべて良い

**問8 移転・リニューアル後の埋蔵文化財センターを、魅力ある施設にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。**



1. 展示の充実 53人
2. 広報・PR活動 56人
3. 市民向けの歴史講座等の充実 54人
4. 児童・生徒を対象とした体験型講座等 37人
5. 近隣の他施設（北九州市立自然史・歴史博物館（いのちのたび博物館等））との連携企画やイベント 43人
6. バックヤード（収蔵庫や整理補修作業等）の見学ツアー 47人
7. 書籍等で考古学や地域の歴史を学ぶスペースの設置 35人
8. 実際に触れて学べる学習コーナーの設置 36人
9. 旧八幡市民会館に関する資料等を集めたコーナーの設置 15人

**<施設についての意見>**

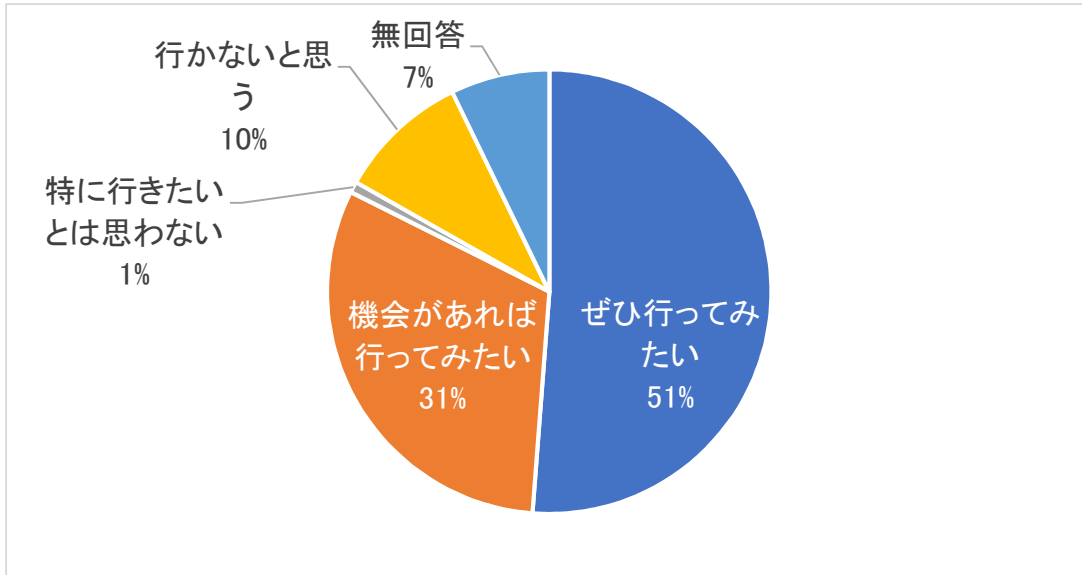
- ・ 広く色々な人に意見を聞いての施設づくりを進めてほしい
- ・ 駐車場の利便性

**<活動についての意見>**

- ・ 考古学講座の数を増やしてほしい
- ・ 考古学の講座の開催



問9 移転・リニューアル後の埋蔵文化財センターに行ってみたいと思いますか。  
(N=127)



1. ぜひ行ってみたい 64人      2. 機会があれば行ってみたい 39人  
3. 特に行きたいとは思わない 1人      4. 行かないと思う 12人      無回答 11人

問10 その他、移転等に関して、ご意見等あればご自由に記入してください

<施設についての主な意見>

- ・旧八幡市民会館は老朽化しているため、耐震等の整備をしてほしい。
- ・横に軽食空間を作ってほしい。
- ・移転前に子供～大人までを対象とした市民と意見交換の時間はありますか？あれば行きたい。
- ・キレイになるのは、楽しみ。
- ・講座を多くの方が受けられるように、研修室を大きくしてほしい。
- ・ここの展示のことを知っている人が少ないので、子供が楽しめて学べるスペースを増やして活用できるとよい。
- ・10台～20台の駐車スペースを確保してほしい。
- ・村野藤吾氏の設計建物を保存してほしい。

<展示についての主な意見>

- ・短時間の見学であったが内容が知れてよかった。遺跡の多さに感心した。
- ・各時代の展示を今以上に拡張・充実してほしい。
- ・子どもも年長者も楽しめる展示を希望する。

## 問10 その他、移転等に関して、ご意見等あればご自由に記入してください

### <展示についての意見>

- ・展示をもっと充実させてほしい。
- ・親しみやすい展示、子供も年長者も楽しめる展示がよい。
- ・移転は残念だが、リニューアルで新しくなることはよい。

### <活動についての意見>

- ・手づくり土器・まがたま等のイベントを実施してほしい。

### <移転・立地に関する主な意見>

- ・遠方になってしまうため、移転には反対。今の場所がよい。
- ・耐震等の費用が大きくなるのではないか。
- ・交通が不便となるので、移転は反対。
- ・遠くなるので残念だが、歴史的建造物を活用することは悪いことではない。機能を十分に発揮できることが必要。
- ・旧八幡市民会館は本来の形に近いものにして残すべき。
- ・尾倉と東田ではやや距離があるため、東田地区に集約してはどうか。
- ・旧八幡市民会館の方が老朽化しているため、埋蔵文化財センターを改修してはどうか。
- ・今の場所で小倉城や松本清張記念館との連携を強めたら、より良い企画ができるのではないか。
- ・観光面から考えても、八幡に移るのは良くないと思う。
- ・旧八幡市民会館の近くに住んでいるので移転すれば行ってみたい。
- ・できれば今の場所が良い。立派な建物を残してほしい。
- ・わざわざ古い建物をリニューアルするよりも新しくした方がよいと思う。

### <その他の意見>

- ・無料に驚いた。知らない人が多いと思うので、もっと多くの人が見る機会があれば良い。
- ・埋蔵文化財センターの認知度が低いと思う。
- ・歴史的なものに興味はあるが、自ら調べて訪問するレベルではないので、本日は宝物に出会った気分。移転に関しては、広報・PRが重要だろう。



問7 現在の展示について、該当するものに○をつけてください。

いずれかひとつに○。

- 1 照明の明るさ： 良い ・ やや良い ・ 普通 ・ やや悪い ・ 悪い
- 2 展示の内容： 良い ・ やや良い ・ 普通 ・ やや悪い ・ 悪い
- 3 展示の導線： 良い ・ やや良い ・ 普通 ・ やや悪い ・ 悪い
- 4 展示パネル： 良い ・ やや良い ・ 普通 ・ やや悪い ・ 悪い
- 5 リーフレット： 良い ・ やや良い ・ 普通 ・ やや悪い ・ 悪い
- 6 その他展示に関して気づいた所・改善して欲しい点（具体的にご記入ください）

【埋蔵文化財センターの移転について】

埋蔵文化財センターは、建物の老朽化や公共施設の総量抑制などの観点から、旧八幡市民会館（八幡東区尾倉二丁目）への移転を検討しています。

移転には経費がかかる一方で、展示スペースのリニューアルや東田地区にある「いのちのたび博物館」との連携がこれまで以上に可能となる、などの効果があると考えています。

問8 移転・リニューアル後の埋蔵文化財センターを、魅力ある施設にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

あてはまるものすべてに○。

- 1 展示の充実
- 2 広報・PR活動
- 3 市民向けの歴史講座等の充実
- 4 児童・生徒を対象とした体験型講座等
- 5 近隣の他施設（いのちのたび博物館等）との連携企画やイベント
- 6 バックヤード（収蔵庫や整理補修作業等）の見学ツアー
- 7 書籍等で考古学や地域の歴史を学べるスペースの設置
- 8 実際に触れて学べる学習コーナーの設置
- 9 旧八幡市民会館に関する資料等を集めたコーナーの設置（※）
- 10 その他（ ）

（※）八幡市民会館は、八幡市制40周年記念事業として、昭和33年に建築。著名な建築家、村野藤吾氏の設計で、第1回BCS賞を受賞。

問9 移転・リニューアル後の埋蔵文化財センターに行ってみたいと思いますか。

いずれかひとつに○。

- 1 ぜひ行ってみたい
- 2 機会があれば行ってみたい
- 3 特に行きたいとは思わない
- 4 行かないと思う

問10 その他、移転等に関して、ご意見等あればご自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。用紙は、受付係員にお渡しください。

◆参考資料② 事務室の環境管理基準

「事務所衛生基準規則」 第二章 事務室の環境管理（第二条～第十二条）より抜粋

事務室の環境管理基準	
気積	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10m<sup>3</sup>/人以上 (設備の占める空間、床から4mを超える空間を除く)</li> </ul>
換気	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最大開放部分の面積が常時床面積の1/20以上（換気が十分にできる設備を設けた時にはこの限りでない。）</li> <li>・ 一酸化酸素：50ppm以下、二酸化炭素：5000ppm以下</li> </ul>
温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10°C以下の時：暖房等の措置を行うこと</li> <li>・ 冷房実施の時：外気温より著しく低くしてはならない</li> </ul>
空気調和設備等による調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浮遊粉じん量0.15mg/m<sup>3</sup>以下、一酸化炭素10ppm以下、二酸化炭素1000ppm以下、ホルムアルデヒド0.1mg/m<sup>3</sup>以下</li> </ul>
照度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精密な作業：300ルクス以上</li> <li>・ 普通の作業：150ルクス</li> <li>・ 粗な作業：70ルクス以上</li> </ul>

◆参考資料③ 各エリアの主な部屋と必要面積ならびに必要な設備

ゾーン	機能区分	諸室番号	室名称	配置階	検討面積 (㎡)	用途・利用人数等	配置・動線などの仕様	現理蔵文化財センターを基にした必要設備			
								電源 (1口2穴アース付き)	給排水	空調	その他
調査・収蔵ゾーン	事務管理エリア	①	事務室	地下1階	65	施設職員が庶務を行うスペース/10人程度	応接室を近くに配置すること。	4口 (天井用配線ダクト)	不要だが、給湯室が必要	必要	LAN
		②	応接室	地下1階	15	来客対応を行うスペース	事務室の近くに配置すること。	2口は必要	不要	必要	LAN
		③	事務室 (受付)	地下1階	35	展示室の受付と来客対応を行うスペース/5人程度	一般観覧者の進入が管理できる動線上に配置すること。	4口 (天井用配線ダクト)	不要だが、給湯室が必要	必要	LAN
		④	更衣室	地下1階	22	更衣スペース	事務室の近くに配置すること。	1口	不要	不要	
		⑤	給湯室	地下1階	3.8	事務室・応接室用の給湯を行うスペース	事務室・応接室の近くに配置すること。	2口は必要	必要	不要	既存を利用
		⑥	給湯室	1階	3.8	作業室用の給湯を行うスペース	美術展示棟側整理作業室近くに配置すること。	2口は必要	必要	不要	既存を利用
	調査作業エリア	⑦	整理作業室	1階	133	出土品の接合や、図化、報告書の作成・研究などを行うスペース	写真撮影室の近くに配置すること。 1階ホワイエ側に見学窓を設け作業風景が見学できるようにすること。	15口	手洗い場兼土器洗い場必要 4口数の手洗い場×2 ※汚水処理可能な排水機能。	必要	LAN 「事務室の環境管理基準」 にのっとること。
		⑧		2階	140						
		⑨		1階	48						
		⑩	写真撮影室	2階	40	出土品の写真撮影を行うスペース		100V 2口、普通3口	不要	必要	窓不要、換気扇
		⑪	水洗・整理室	地下1階	66	出土品の水洗いや整理を行うスペース		4口	手洗い場兼土器洗い場必要 4口数の手洗い場×2 ※汚水処理可能な排水機能。	必要	
		⑫	資料室	地下1階	81	研究書籍や過去の届出文書などの保存・配架を行うスペース	アングル棚を設置すること。	3口	不要	必要	除湿、ガス消火設備が必要
		⑬	資料室 (書籍)	地下1階	70	調査研究に必要な図書保管室	書棚 (現在使用しているものを移設) を設置すること。	4口	不要	不要	ガス消火設備が必要
		⑭	写真・図面保管庫	地下1階	35	発掘調査や出土品の写真、図面の保管を行うスペース	アングル棚を設置すること。	2口	不要	必要	除湿、ガス消火設備が必要
	収蔵エリア	⑮	収蔵庫	1階	1010	報告書作成用の出土品・発掘調査直後の出土品の保管を行うスペース	整理作業室との動線が確保されていること。	各2口	不要	不要	換気が必要
		⑯	特別収蔵庫 (鉄器・木器)	1階	110	鉄製品など室温管理が必要な出土品の保管を行うスペース	室温が管理しやすい位置に配置すること。コンクリート躯体との間に空間を確保した二重壁にすること。換気口を設けること。	2口×2部屋	不要	必要	除湿が必要 温度20度～25度、湿度40%～60%に保てる部屋
	倉庫エリア	⑰	機材倉庫	地下1階	57	発掘に必要な機材の保管を行うスペース	搬出しやすい場所に配置すること。進入に段差がないよう配慮すること。	2口	必要 (洗い場)	不要	換気が必要 荷重に耐える、床が洗いやすい
		⑱	機材倉庫a	1階	16	試掘調査などで出土した出土品・機材の保管を行うスペース	搬出しやすい場所に配置すること。進入に段差がないよう配慮すること。	5口	必要	必要	換気が必要 荷重に耐える、床が洗いやすい

◆参考資料③ 各エリアの主な部屋と必要面積ならびに必要な設備

ゾーン	機能区分	諸室番号	室名称	配置階	検討面積 (㎡)	用途・利用人数等	配置・導線などの仕様	現埋蔵文化財センターを基にした必要設備				
								電源 (1口2穴アース付き)	給排水	空調	その他	
見学ゾーン	展示・普及エリア	⑱	展示室	1階	300	市内の遺跡・出土品の展示を行うスペース	展示室として使いやすい形に改修すること。詳細は展示計画を参照すること。	10口	不要	必要	L A N、監視カメラ	
		⑳	埋蔵文化財の仕事紹介コーナー	1階	—	埋蔵文化財業務紹介ならびに発掘速報展を行うスペース	1階ホワイエ西側に配置すること。前室を用いた収蔵庫見学と見学窓での作業室見学が行えるようにすること。詳細は展示計画を参照すること。	4口	不要	不要	監視カメラ	
		㉑	旧八幡市民会館に関する展示コーナー	2階	36	旧八幡市民会館についての紹介を行うスペース	鍵盤型採光窓が見える配置とすること。常時、ホール2階観客席が一部見える工夫を行うこと。ホール2階観客席へ向かう前室を一部残し、観客席へ向かう動線を確保すること。	4口	不要	不要	監視カメラ	
		㉒	ライブラリーコーナー	1階	—	埋蔵文化財の調査報告書や考古学関連書籍の閲覧を行うスペース	ホワイエまたは展示室内に配置すること。	4口	不要	必要	監視カメラ	
		㉓	研修室	地下1階	100	講座やワークショップを行うスペース/最大80人	管理動線に交わらずに進入できるように配慮すること。なお、計画では屋外から直接進入する動線を想定している。	5口	不要	必要	L A N、監視カメラ	
その他		㉔	地下1階トイレ		—		可能であれば多目的トイレとすること			—	換気が必要 来館者用	
		㉕	半地階トイレ		—					—	換気が必要 来館者用	
		㉖	1階トイレ		—		多目的トイレ、一般トイレ			—	換気が必要 来館者用	
			エレベーター	地下1階～2階		来館者が1階展示室・2階旧八幡市民会館に関する展示フロアなどへ移動する際に使用	来館者が認識しやすい・利用しやすい場所に設置すること	—	—	—	4人乗り (機械室なし)	
			機材リフト	地下1階～2階		出土品を1階・2階収蔵庫・整理作業室・展示室へ運搬	各部屋へ運搬しやすい場所に設置すること	—	—	—	最大積載荷重240 k g 外形150cm×150cm 内形(荷物室125cm×100cm)	
			手洗い場	美術展示棟外部そば		室内で洗えない出土品ならびに現場発掘機材を洗うスペース	美術展示棟そば・外部へ設置すること					汚水処理ができる排水機能(排水泥溜り)
			防犯カメラ設置	エントランス・地下1階駐車場・東側裏入口・西側裏入口								
			合計		2386.6							

## ◆主な参考文献一覧

---

- ・北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室、平成24年「きたきゅう発掘！考古学ノート」
- ・文化庁、平成20年、「今後の埋蔵文化財保護体制の在り方について（報告）」
- ・厚生労働省、昭和47年9月30日施行平成16年3月30日改正、  
「昭和四十七年労働省令第四十三号 事務所衛生基準規則」
- ・村野藤吾研究会編、2009「村野藤吾 建築案内」TOTO出版
- ・新建築社 昭和34年 『新建築 第34巻 第8号』